

プロフィール

所在地	徳島県徳島市
団体名	徳島盲ろう者友の会ふうわ部
活動名称	ふうわ部定例会
こんな活動です	孤独な時間を豊かに過ごすために ～パートナーとともに体験する地域活動～
連携している 団体等	NPO法人

奨励者表彰

活動分野	学習
主な対象	先天性盲ろう児者
団体の規模	正会員数 35名 賛助会員数 22名

活動の説明

①活動内容	<p>先天性盲ろう者である会員4名（児童1名・成人3名 [20代～30代]）が、1ヶ月に一度、支援員の協力のもと調理をはじめ、本人の希望する活動（水泳、トレーニングジム、手芸、パソコン等）に参加している。重度障害のある者にとっては余暇活動の幅を広げる事も生涯にわたる学びの一環として捉え取り組んでいる。特に調理活動は、素材の感触、味、におい等を体感しながら調理の手順を学ぶことはもとより、協同作業を通し、コミュニケーション力の育成にも繋がる活動として積極的に取り組んでいる。活動内容は個人の状況に合わせてスムーズステップで変化させている。盲ろう者の変容は微細で、一緒に活動している時には把握しづらいためビデオに記録し、家族や支援者が一緒に見る機会を設けることにより、本人の意思の読み取りやスキルの習得状況を確認している。</p>
②活動体制	<p>盲ろう者向け通訳介助員や特別支援学校教員、大学生等が毎回5人～10人程度支援にあっている。母親をはじめとする家族も参加している。</p>
③活動の効果等	<p>先天性盲ろう児者は、その障害特性により、コミュニケーションや新しい経験をすることに困難を抱えており、余暇活動も極端に乏しい状況にある。教育段階においても盲ろうに特化した教育の場が無い状況であるが、学校卒業後は、盲ろうの障害特性に配慮された生活や余暇活動の場がさらに少なくなる。そのため、学校で身につけたことが活かされず、著しく状態が後退したり、落ち着いて生活ができなくなったりしていることがある。この会では、活動を継続することにより、本人なりに、活動に対する見通しを持った行動が増え、支援者との関わりや仲間への関心、取組姿勢に変化が見られるようになった。また支援者も家族も、本人たちの微細な発信を読み取るよう心がけ、より尊重して接してきたことにより、本人たちからは意思が通じた喜びの表情が見られるようになった。特に家族から、それぞれの人の特性や対応の仕方を学ぶことができるため、一人一人に応じた成長を促すような関わり方の工夫もできるようになったという感想を聞くことができた。</p> <p>孤立していた家族も、定期的と一緒に活動することを通してお互いの子どもの様子を知り、悩みの共有や将来の展望について話し合うことができるようになった。我々の活動について機会を捉えて発信してきたことにより、最近、いくつかの地域において同様の活動が始まっている。</p> <p>1か月に一度の活動ではあるが、先天性盲ろう児者が自分の好きな活動を支援者とともに行うことにより、その楽しかった記憶を繰り返し思い出して、ハッピーな気持ちで毎日を過ごすことができたと願っている。</p>

活動の様子



調理活動の様子



支援者と一緒にみかん狩り